

第11回 和泉市入札等監視委員会(会議概要)

開催日時	平成23年1月26日(水)午後1時25分から午後2時15分
開催場所	和泉市役所4号館1階会議室
出席者	委員:弁護士、警察OB 事務局:次長兼契約課長、契約課参事兼課長補佐、契約課職員 合計5名
審議対象期間	平成22年8月1日から平成22年11月31日まで
議題	議案審議 (1)入札・契約手続きの運用状況について (2)入札方法別抽出工事案件審議
審議概要	<p>(1)入札・契約手続きの運用状況について 平成23年度発注工事から、土木一式工事の制限付き一般競争入札の下限額を、設計金額ベースで9千万円から1億5千万円に引き上げることを説明。 [変更理由] 現状においては、一般的に、本市の一般競争入札の参加要件は他市に比べて緩いため、他市の業者が本市の入札に参加しやすいのに対し、本市の業者は他市の入札に参加しにくい状況になっているため。 [土木一式工事のみ変更した理由] 設計金額が1億5千万円以上の工事になると、下請業者に発注する工事金額が大きくなる。下請業者に発注する工事金額が3千万円(建築一式工事の場合は4千5百万円)以上になると、特定建設業の許可が必要になるが、土木一式工事以外の業種では特定建設業の許可を受けている業者が少ないため。</p> <p>(2)入札方法別抽出工事案件審議 ・公募型指名競争入札案件 ①和泉府中駅前再開発事業 歩行者デッキ下部工事(H22-1) ②太町3-9-3号線管布設工事その19 ③黒鳥山公園整備工事 ④和泉府中駅前再開発事業 和泉府中南通線植栽工事 ⑤黒鳥4-8-2号線管布設工事その21 委員～③④は共に造園工事である。④は最低制限価格での落札であるが、③はそうはなっていない。何か理由はあるのか?発注課の違いでそうなるのか? 事務局～③は公園緑地課、④は再開発室の発注であるが、それが原因ではないと考える。 ③については、基盤整備・施設整備、給水・電気設備、園路広場整備、管理施設整備等の工事があり、多岐にわたっている。下請に出さないといけないような工事もあり、どうしても積算のうえで厳しくなる。それに比べて④は専門分野である植栽工事が主であり、それが積算に反映されたからではないかと考える。 委員～④について、落札業者と2番手の業者の差が70万円余りある。請負金額からすると大きいように思うが、この差はどういう原因が考えられるか?何かあるのか? 事務局～推測であるが、仕入先等の違いがあるのかもしれない。また、市のメイン通りの植栽ということで、落札業者と他の業者との意欲の差が出たのではないかと考えている。 委員～今回も最低制限価格での抽選や落札が多いが、これはこれで問題ではないのか?業者から全く利益がでないというようなことも聞くことがある。 事務局～これを防ごうと思えば、最低制限価格を事後公表にする必要がある。しかし、事後公表にすると、今度は漏洩という問題が発生する。現時点では、まだ、事後公表に切り替える時期ではないと考えている。 ①②⑤については、委員から特に意見等はなかった。</p>

審 議 概 要	<p>・指名競争入札案件</p> <p>⑥和泉府中駅前再開発事業 歩行者デッキ上部工事(H22-1)</p> <p>⑦市立郷荘中学校他2校扇風機設置に伴う電源工事</p> <p>⑧和泉府中駅前再開発事業 大阪和泉南線証明工事</p> <p>委員～⑥については、指名競争入札であるのに、請負金額(約7千3百万円)が高いが何か理由はあるのか？</p> <p>事務局～本件は、工事種別が「鋼構造物」であり、本市が等級格付けしている6業種以外の業種であるため、工事登録業者の中から鋼構造物の総合評定値(P点)及び工事実績等を考慮し、業者を選定し指名競争入札としたものである。</p> <p>委員～⑦⑧については、落札率が高いように思われるが、理由は？</p> <p>事務局～従来から、設計金額の低い工事の落札率は高い傾向にある。これは調達費用や作業効率からやむを得ない面があると考えている。また、電気工事等は土木工事等に比べて設計金額に占める直接工事費の割合が比較的高くなるので、そのことも影響しているのではないかと考えている。</p>
---------	--